

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-42239

(43) 公開日 平成10年(1998) 2月13日

(51) Int.Cl. <sup>8</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N	5/78		H 0 4 N	5/78 B
	5/445			5/445 Z
	5/85			5/85 B
	5/93			5/93 E

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 特願平8-192091

(22) 出願日 平成8年(1996) 7月22日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 九津見 洋

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器

産業株式会社内

(72) 発明者 今中 武

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器

産業株式会社内

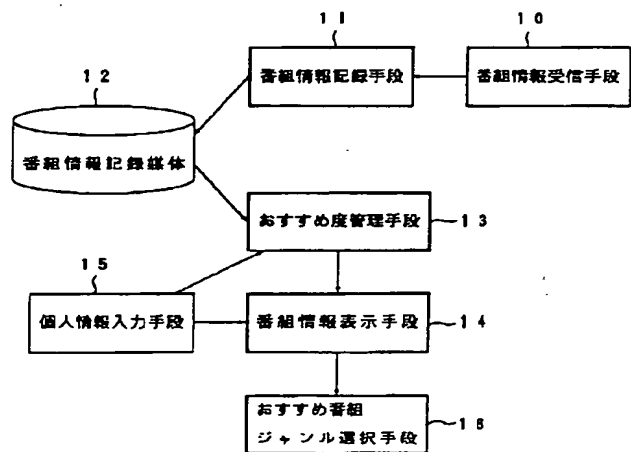
(74) 代理人 弁理士 岡田 和秀

(54) 【発明の名称】 受信端末装置

(57) 【要約】

【課題】 ユーザー自身の個人的状況に係る個人情報（年齢・性別など、希望する気分）を入力することにより、ユーザー自身の状況にとっての適正な番組案内画面を提示できる受信端末装置を提供する。

【解決手段】 番組情報記録媒体 12 は番組情報受信手段 10 が受信した番組名、放映日時、チャンネル、ジャンルと年齢区分や性別に応じた番組のおすすめ度情報を含む番組情報を記録している。番組情報表示手段 14 はおすすめ番組選択の基礎となる年齢区分や性別などの個人的状況選択メニュー 17 を画面に表示する。ユーザーは個人情報入力手段 15 により個人的状況選択メニュー 17 のメニュー項目から個人情報（年齢区分や性別）を入力すると、おすすめ度管理手段 13 は番組情報記録媒体 12 から該当する番組情報を抽出して一時記憶し、あとの番組サーチ時にその抽出した番組情報を番組情報表示手段 14 に表示する。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくとも年齢区分や性別などに応じた番組のおすすめ度情報を含む番組情報を記録しておく番組情報記録媒体と、記録されている各番組の番組情報のおすすめ度を管理するおすすめ度管理手段と、おすすめ番組選択の基礎となる年齢区分や性別などの個人的状況選択メニューを画面に表示する番組情報表示手段と、表示された個人的状況選択メニューのメニュー項目の中からユーザーの個人的状況に係る個人情報を入力手段とを備え、前記おすすめ度管理手段は前記個人情報入力手段からの個人情報入力に基づいて前記番組情報記録媒体中から該当する番組情報を抽出し前記番組情報表示手段に表示させるように構成されていることを特徴とする受信端末装置。

【請求項2】 少なくとも番組の感性分類情報を含む番組情報を記録しておく番組情報記録媒体と、記録されている各番組の番組情報の感性分類情報を管理する感性情報管理手段と、ユーザーが希望する気分となるのに適正な番組を選択するときの基礎となる感性分類用語選択メニューを画面に表示する番組情報表示手段と、表示された感性分類用語選択メニューのメニュー項目の中からユーザーが希望する気分に係る個人情報を入力手段とを備え、前記感性情報管理手段は前記個人情報入力手段からの個人情報入力に基づいて前記番組情報記録媒体中から該当する番組情報を抽出し前記番組情報表示手段に表示させるように構成されていることを特徴とする受信端末装置。

【請求項3】 番組情報を受信する番組情報受信手段と、受信した番組情報を番組情報記録媒体に記録する番組情報記録手段とを備えていることを特徴とする請求項1または請求項2に記載の受信端末装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、放送される番組を受信するだけでなく、番組に付随する情報（番組情報）、例えば、番組名、番組放映日時、放送チャンネル、番組のジャンル等の番組情報をも保持して、その番組情報に基づいて視聴あるいは録画予約するように構成された受信端末装置に関するものである。対象とする放送はあらゆる放送であるが主にデジタル放送である。また、通信の媒体としては、衛星放送が主であるが、有線放送（CATV）でも電話回線を利用した放送でも、あるいは地上波放送であってもよい。

## 【0002】

【従来の技術】 デジタル多チャンネル放送では数百に及ぶチャンネルが提供されるため、ユーザーが所望の番組を視聴できるようにするには、様々な通信媒体を通じて配信される番組表や番組案内などのサービスが不可欠になる。従来、このような番組案内としてチャンネル名と時間を2軸とした番組表が知られている。この番組表が

2

ディスプレイの画面上に表示され、ユーザーはカーソルを移動させて番組を選択すると、その番組の概要、出演者などのより詳しい情報を見ることができる。番組のジャンル、出演者などの情報はあらかじめ番組情報に含まれているので、番組を探し出す際にはそれらを手がかりとして所望の番組を見つけることが可能である。そして、画面上で見つけ出した視聴したい番組を画面上で選択することができ、さらに番組の録画予約もその画面上において簡単に行うことができる。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、上記した従来の技術に係る受信端末装置の場合には、ユーザーがだれであっても画一的な番組情報しか表示できず、例えばユーザーの年齢や性別などの個人的状況に応じた適正な番組としてどのような番組があるのかの提示を行うことはできないものであった。また、年齢や性別が何であるかに関係なく、ユーザー自身が希望するある種の気分になりたいときにそのような気分に合わせてくれる上で適正な番組としてどのような番組があるのかの提示を行うことはできないものであった。

【0004】 本発明は、このような事情に鑑みて創案されたものであって、ユーザーが年齢や性別などの個人的状況に係る個人情報を入力することにより、個々のユーザーの個人的状況に応じた適正な番組案内画面を提示することができる受信端末装置を提供することを目的としている。また、ユーザーが希望する気分となるのに適正な番組案内画面を提示することができる受信端末装置を提供することを目的としている。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明に係る受信端末装置は、おすすめ番組選択の基礎となる年齢区分や性別などの個人的状況選択メニュー、あるいはユーザーが希望する気分となるのに適正な番組を選択するときの基礎となる感性分類用語選択メニューを画面に表示し、ユーザーがその画面を見てメニュー項目選択という形でユーザーがユーザー自身に係る個人情報（年齢区分や性別、あるいは希望する気分）を入力すると、その入力された個人情報に基づいて、番組情報記録媒体の中から該当する番組情報を抽出し、ユーザーの個人的状況（年齢・性別や希望する気分）に応じて適正な番組案内画面を提示するので、ユーザーは非常に多数の番組の中から自分に適した番組を容易に見つけ出すことができる。

## 【0006】

【発明の実施の形態】 本発明に係る請求項1の受信端末装置は、少なくとも年齢区分や性別などに応じた番組のおすすめ度情報を含む番組情報を記録しておく番組情報記録媒体と、記録されている各番組の番組情報のおすすめ度を管理するおすすめ度管理手段と、おすすめ番組選択の基礎となる年齢区分や性別などの個人的状況選択メニューを画面に表示する番組情報表示手段と、表示され

10

20

30

40

50

3

た個人的状況選択メニューのメニュー項目の中からユーザーの個人的状況に係る個人情報を選択の形で入力する個人情報入力手段とを備え、前記おすすめ度管理手段は前記個人情報入力手段からの個人情報入力に基づいて前記番組情報記録媒体中から該当する番組情報を抽出し前記番組情報表示手段に表示させるように構成されていることを特徴としている。ユーザーが個人的状況（年齢・性別など）に係る個人情報を入力することにより、個々のユーザーの個人的状況（年齢・性別など）に応じた適正な番組案内画面を自動的に提示する。

【0007】本発明に係る請求項2の受信端末装置は、少なくとも番組の感性分類情報を含む番組情報を記録しておく番組情報記録媒体と、記録されている各番組の番組情報の感性分類情報を管理する感性情報管理手段と、ユーザーが希望する気分となるのに適正な番組を選択するときの基礎となる感性分類用語選択メニューを画面に表示する番組情報表示手段と、表示された感性分類用語選択メニューのメニュー項目の中からユーザーが希望する気分に係る個人情報をメニュー項目選択の形で入力する個人情報入力手段とを備え、前記感性情報管理手段は前記個人情報入力手段からの個人情報入力に基づいて前記番組情報記録媒体中から該当する番組情報を抽出し前記番組情報表示手段に表示させるように構成されていることを特徴としている。ユーザーが自分が希望する気分に係る個人情報を入力することにより、ユーザーがいま希望する気分となるのに適正な番組案内画面を自動的に提示する。

【0008】本発明に係る請求項3の受信端末装置は、上記請求項1または請求項2において、番組情報を受信する番組情報受信手段と、受信した番組情報を番組情報記録媒体に記録する番組情報記録手段とを備えていることを特徴としている。常に新しい番組情報を受信して記録し、その番組情報から個人的状況（年齢・性別や希望する気分）に則した番組情報を検索することになるので、最新の番組情報に基づいて適正な番組案内を得ることができる。

【0009】以下、本発明に係る受信端末装置の実施の形態について、図面に基いて詳細に説明する。

【0010】〔実施の形態1〕図1は本発明の実施の形態1に係る受信端末装置の構成を示すブロック図である。図1において、10は例えば放送衛星から定期的または不定期的に送信されてくる番組情報を受信する番組情報受信手段、11は受信した番組情報を記録媒体に記録する番組情報記録手段、12は番組情報を記録しておく番組情報記録媒体、13は記録された番組情報からそれに含まれている各番組のおすすめ度（これについては後述する）を管理するおすすめ度管理手段、14はユーザーに個人的状況に係る個人情報を入力させておすすめ番組を決定していくときの基礎となる個人的状況選択メニュー17を図4のように画面100に表示するととも

4

に、選択されたメニュー項目に応じたおすすめ番組のジャンルであるおすすめ番組ジャンル情報18を図5のように画面100に表示するための番組情報表示手段、15はユーザーが画面100に表示された個人的状況選択メニュー17のメニュー項目の中からユーザーの個人的状況に係る個人情報をメニュー項目選択という方法で入力するリモコンなどの個人情報入力手段、16は画面に表示されているおすすめ番組ジャンル情報18の中からユーザーがリモコン操作などによる選択番号入力によって視聴したいと思う番組ジャンルであるおすすめ番組ジャンルを選択するためのおすすめ番組ジャンル選択手段である。番組情報記録媒体12としては、ハードディスクや半導体メモリのほかにフロッピーディスクや磁気テープなどでもよい。

【0011】図2は多種多様の番組情報のうちで本実施の形態1の場合に必要なとされる番組情報を表すとともに、また番組情報記録媒体12においてその番組情報を格納している1番組についての番組情報テーブル12aでの番組情報格納状態図である。本実施の形態1の場合、番組情報テーブル12aには、個々の番組についての番組名、番組放映日時、放送チャンネル、番組のジャンルおよびおすすめ度情報が格納されている。ただし、これ以外の番組情報を含むことを除外するものではない。番組情報記録媒体12には、上記のようなおすすめ度情報を含む番組情報テーブル12aが非常に多数存在している。

【0012】図2の番組情報テーブル12aの場合のおすすめ度情報の内容を見てみると、この番組は、年齢別にみると、幼児にとってはおすすめ度が0.0であり、中学生以下の年齢層にとってはおすすめ度が0.10であり、大学生以下の年齢層にとってはおすすめ度が0.25であり、30歳代以下の年齢層にとってもおすすめ度が0.25であり、50歳代以下の年齢層にとってはおすすめ度が0.20であり、それ以上の年齢層にとってもおすすめ度が0.20であることを示しており、また、性別でみると、男性にとってはおすすめ度が0.5であり、女性にとってもおすすめ度が0.5であることを示している。

【0013】以上のように構成された実施の形態1の受信端末装置の動作を図3に示すフローチャートに従って、以下に説明する。

【0014】ユーザーによるリモコン操作によりおすすめ度情報表示モードが選択されると、ステップS1からの動作がスタートし、ステップS1で図示しないCPU（中央演算処理装置）は図4に示すように画面100に、ユーザーに個人的状況に係る個人情報を入力させておすすめ番組を決定していくときの基礎となる個人的状況選択メニュー17を表示する。この個人的状況選択メニュー17は、選択番号と年齢区分とが対になって複数項目が表示される。すなわち、「1 幼児」、「2 ~

5

中学生」、「3 ～大学生」、「4 ～30代」、「5 ～50代」、「6 ～それ以上」と表示される。同時に、ユーザーに選択を促すためのメッセージ（「あなたの年齢は？」）も表示される。

【0015】ステップS2で個人情報の入力を行う。すなわち、ユーザーは、表示された個人的状況選択メニュー17を見ながら、リモコンのような個人情報入力手段15によりユーザーの個人的状況に係る個人情報（年齢区分）の入力を行う。この入力、実際上は、メニュー項目における選択番号の入力によって行われる。例えば、そのユーザーが35歳の人であると、選択番号

「4」を入力する。個人情報の入力が行われると、ステップS3に進み、おすすめ度管理手段13は、入力された個人情報（年齢についての選択番号「4」）に基づいて番組情報記録媒体12を検索し、入力された個人情報（ユーザーの年齢区分）に該当する番組情報のみを抽出して一時記憶する。この抽出は番組情報テーブルのすべてに対して行う。番組情報記録媒体12に記録されているすべての番組情報について入力された個人情報（年齢）に該当する番組情報の抽出が終わると、ステップS4に進んでおすすめ度管理手段13はおすすめ度の点数の大小比較を行って該当する番組情報におすすめ度の点数の大きい方から昇順で番号を付けて一時記憶し、ステップS5において番組情報表示手段14を駆動して図5に示すように画面100におすすめ番組ジャンル情報18をおすすめ度の点数の大きいものから降順で表示する。おすすめ番組ジャンル情報18は、推奨番組ジャンル順位とジャンルとが対になって表示される。上記の例の35歳のユーザーに対しては、おすすめ番組ジャンル情報18として、1位がニュースであり、2位が歌番組であり、3位が映画であり、4位がワイドショーであり、5位がスポーツであり、6位がドキュメンタリーとなっている。もっとも、これらのうち、どの順位のものを選択するかはまったくユーザーの自由である。ユーザーは、番組選択の指標として、どのようなジャンルの番組がどのような推奨番組ジャンル順位になっているのかを参考にするだけである。

【0016】ここで注意すべきことは、図5の画面が一見、単にジャンル別に分類されたメニュー画面であるように見えるが、そうではなく、すでに、図4での個人情報選択により表示されるべきジャンルとしてフィルタ（制限）がかけられているということである。

【0017】ユーザーは、このあと、リモコンなどのおすすめ番組ジャンル選択手段16によって所望の推奨番組ジャンル順位の番号を入力すると、その入力によって選択された番組ジャンルに限定してかつステップS3でおすすめ度管理手段13に一時記憶されたユーザーの個人情報（年齢区分）に応じたおすすめの番組情報の集合だけが選択される。あとはその集合における番組情報の番組についてのみ、何らかのインターフェースによって所

6

望の番組にたどり着くまでユーザーが選択肢を選んで行く。このとき、ユーザーが選択した番組ジャンルに限定されかつユーザーが入力した個人情報（年齢区分）に限定された選択肢が順次に表示されていくことになる。

【0018】なお、上記の例では、個人的状況選択メニュー17として年齢区分を表示したが、これに代えて、性別を表示してもよく、さらには、年齢区分の表示・選択のあとまたは前に性別を表示・選択するようにして、より適正な番組ジャンルに絞り込んでいくようにしてもよい。

【0019】本実施の形態1の受信端末装置によれば、画面100に、年齢区分や性別などの個人的状況選択メニュー17を表示してユーザーに個人的状況に係る個人情報の入力を促し、ユーザーが個人情報を入力すると、おすすめ度管理手段13が入力された個人情報に該当する番組情報のみを抽出し、おすすめ番組ジャンルをおすすめ度の高い順に一覧的に表示し、あとは所望の番組にたどり着くまでユーザーが選択肢を選んでいくときに前記の入力された個人情報（年齢区分や性別など）に該当して抽出され一時記憶されている番組情報のみの集合の中から選択肢の候補が表示されるので、非常に多数の番組の中からユーザーの年齢区分や性別などの個人的状況に適した番組を容易に見つけ出すことができる。

【0020】なお、個人的状況選択メニューとしては、年齢区分や性別のほか、職業、国籍、居住地域、趣味などを設定してもよく、さらにはこれらの任意の組み合わせとすることでよい。

【0021】なお、S2で入力される個人情報を記憶させておき、次回からS1、S2の操作を省略させてもよい。

【0022】また、おすすめ度順に従って表示されたおすすめ番組ジャンル情報18を選択するためのおすすめ番組ジャンル選択手段16は、おすすめ番組の検索・表示をエッセンスとする本発明そのものとしては必須の要件ではなく、実機においては本発明が対象とする技術的範囲の外部において設けられていれば充分である。

【0023】また、番組情報受信手段10と番組情報記録手段11も本発明そのものとしては必須の要件ではない。番組情報記録媒体12に対して何らかの方法で番組情報を格納すればよく、広義には番組情報を記録している番組情報記録媒体12を何らかの手段で実機に接続するのでよい。

【0024】〔実施の形態2〕図6は本発明の実施の形態2に係る受信端末装置の構成を示すブロック図である。図6において、10は例えば放送衛星から定期的または不定期的に送信されてくる番組情報を受信する番組情報受信手段、11は受信した番組情報を記録媒体に記録する番組情報記録手段、12は番組情報を記録しておく番組情報記録媒体、21は記録された番組情報からそれに含まれている各番組の感性分類用語（これについて

7

は後述する)を管理する感性情報管理手段、22はユーザーにユーザー自身が希望するある種の気分になりたいときにユーザーの個人情報を入力させてそのような気分になてくれる上で適正な番組を決定していくときの基礎となる感性分類用語選択メニュー25を図10のように画面100に表示するとともに、選択されたメニュー項目に応じた適正な番組のジャンルである適正番組ジャンル情報26を図11のように画面100に表示するための番組情報表示手段、23はユーザーが画面100に表示された感性分類用語選択メニュー25のメニュー項目の中からユーザーが希望する気分に係る個人情報をメニュー項目選択という方法で入力するリモコンなどの個人情報入力手段、24は画面に表示されている適正番組ジャンル情報26の中からユーザーがリモコン操作などによる選択番号入力によって視聴したいと思う番組ジャンルである適正番組ジャンルを選択するための適正番組ジャンル選択手段である。

【0025】図7は多種多様の番組情報のうちで本実施の形態2の場合に必要とされる番組情報を表すとともに、また番組情報記録媒体12においてその番組情報を格納している1番組についての番組情報テーブル12bでの番組情報格納状態図である。本実施の形態2の場合、番組情報テーブル12bには、個々の番組についての番組名、番組放映日時、放送チャンネル、番組のジャンルおよび感性分類情報が格納されている。ただし、これ以外の番組情報を含むことを除外するものではない。番組情報記録媒体12には、上記のような感性分類情報を含む番組情報テーブル12bが非常に多数存在している。

【0026】図7の番組情報テーブル12bの場合の感性分類情報の内容を見てみると、この番組は、それを視聴することでユーザーを「うきうきする」、「わくわくする」、「元気な」といった気分にする上で適正な番組であることを示している。

【0027】図8は感性分類用語の集合を示すもので、番組情報テーブル12bにおける感性分類情報はこの感性分類情報集合のうちから該当するものを選択して設定する。

【0028】以上のように構成された実施の形態2の受信端末装置の動作を図9に示すフローチャートに従って、以下に説明する。

【0029】ユーザーによるリモコン操作により感性分類情報表示モードが選択されると、ステップS11からの動作がスタートし、ステップS11で図示しないCPUは図10に示すように画面100に、ユーザーにユーザーが希望する気分に係る個人情報を入力させてその気分マッチした番組を決定していくときの基礎となる感性分類用語選択メニュー25を表示する。この感性分類用語選択メニュー25は、選択番号と感性分類用語とが対になって複数項目が表示される。すなわち、「1 う

8

きうきしたい」、「2 わくわくしたい」、「3 はらはらしたい」、「4 どっきりしたい」、「5 めめめそしたい」、「6 気合いを入れたい」と表示される。同時に、ユーザーに選択を促すためのメッセージ(「あなたの今の気持ちは?」)も表示される。

【0030】ステップS12で個人情報の入力を行う。すなわち、ユーザーは、表示された感性分類用語選択メニュー25を見ながら、リモコンのような個人情報入力手段23によりユーザー自身が希望するある種の気分になりたいときのその気分に係る個人情報の入力を行う。この入力、実際上は、メニュー項目における選択番号の入力によって行われる。例えば、そのユーザーが「気合いを入れたい」番組を視聴したいときには、選択番号「6」を入力する。個人情報の入力が行われると、ステップS13に進み、感性情報管理手段21は、入力された個人情報(感性分類用語についての選択番号「6」)に基づいて番組情報記録媒体12を検索し、入力された個人情報(ユーザーが希望する気分に係る個人情報)に該当する番組情報のみを抽出して一時記憶する。この抽出は番組情報テーブルのすべてに対して行う。番組情報記録媒体12に記録されているすべての番組情報について入力されたユーザーが希望する気分に係る個人情報に関する番組情報の抽出が終わると、ステップS14に進んで感性情報管理手段21は抽出した番組情報をジャンル別に分類してジャンル数の大きい方から昇順で番号を付けて一時記憶し、ステップS15において番組情報表示手段22を駆動して図11に示すように画面100に適正番組ジャンル情報26をジャンル数の大きいものから降順で表示する。適正番組ジャンル情報26は、適正番組ジャンル順位とジャンルとが対になって表示される。もっとも、表示された適正番組ジャンル情報26のうち、どの順位のものを選択するかはまったくユーザーの自由である。ユーザーは、番組選択の指標として、どのようなジャンルの番組がどのような適正番組ジャンル順位になっているのかを参考にただけである。

【0031】ここで注意すべきことは、図11の画面が一見、単にジャンル別に分類されたメニュー画面であるように見えるが、そうではなく、すでに、図10での個人情報選択により表示されるべきジャンルとしてフィルタ(制限)がかけられているということである。

【0032】ユーザーは、このあと、リモコンなどの適正番組ジャンル選択手段24によって所望の適正番組ジャンル順位の番号を入力すると、その入力によって選択された番組ジャンルに限定してかつステップS13で感性情報管理手段21に一時記憶されたユーザーが希望する気分に係る個人情報に則した適正な番組情報の集合だけが選択される。あとはその集合における番組情報の番組についてののみ、何らかのインタフェースによって所望の番組にたどり着くまでユーザーが選択肢を選んで行く。このとき、ユーザーが選択した番組ジャンルに限定

9

されかつユーザーが入力した個人情報（ユーザーが希望する気分）に限定された選択肢が順次に表示されていくことになる。

【0033】本実施の形態2の受信端末装置によれば、画面100に、感性分類用語選択メニュー25を表示してユーザーにユーザーが希望する気分に係る個人情報の入力を促し、ユーザーが個人情報を入力すると、感性情報管理手段21が入力された個人情報に該当する番組情報のみを抽出し、適正番組ジャンルを適正度の高い順に一覧的に表示し、あとは所望の番組にたどり着くまでユーザーが選択肢を選んでいくときに前記の入力された個人情報（希望する気分）に該当して抽出され一時記憶されている番組情報のみの集合の中から選択肢の候補が表示されるので、非常に多数の番組の中からユーザー自身が希望するある種の気分になりたいときにそのような気分に応じてくれる上で適正な番組を容易に見つけ出すことができる。

【0034】なお、適正度順に従って表示された適正番組ジャンル情報26を選択するための適正番組ジャンル選択手段24は、ユーザーが希望する気分となるのに適正な番組の検索・表示をエッセンスとする本発明そのものとしては必須の要件ではなく、実機においては本発明が対象とする技術的範囲の外部において設けられていれば充分である。

【0035】また、番組情報受信手段10と番組情報記録手段11も本発明そのものとしては必須の要件ではない。番組情報記録媒体12に対して何らかの方法で番組情報を格納すればよく、広義には番組情報を記録している番組情報記録媒体12を何らかの手段で実機に接続するのでもよい。

【0036】

【発明の効果】本発明に係る受信端末装置によれば、ユーザーの個人的状況（年齢・性別や希望する気分）に適した番組案内画面を提示するので、ユーザーは非常に多数の番組の中から自分自身の状況に適した番組を容易に見つけ出すことができる。

【図面の簡単な説明】

10

【図1】本発明の実施の形態1に係る受信端末装置の構成を示すブロック図である。

【図2】実施の形態1における番組情報記録媒体の番組情報テーブルでの番組情報格納状態図である。

【図3】実施の形態1の受信端末装置の動作を説明するフローチャートである。

【図4】実施の形態1における個人的状況選択メニューの表示状態図である。

【図5】実施の形態1におけるおすすめ番組ジャンル情報の表示状態図である。

【図6】本発明の実施の形態2に係る受信端末装置の構成を示すブロック図である。

【図7】実施の形態2における番組情報記録媒体の番組情報テーブルでの番組情報格納状態図である。

【図8】実施の形態2において用いられる感性分類用語の集合を示す図である。

【図9】実施の形態2の受信端末装置の動作を説明するフローチャートである。

【図10】実施の形態2における感性分類用語選択メニューの表示状態図である。

【図11】実施の形態2における適正番組ジャンル情報の表示状態図である。

【符号の説明】

10……番組情報受信手段

11……番組情報記録手段

12……番組情報記録媒体

12a, 12b……番組情報テーブル

13……おすすめ度管理手段

14, 22……番組情報表示手段

15, 23……個人情報入力手段

16……おすすめ番組ジャンル選択手段

17……個人的状況選択メニュー

18……おすすめ番組ジャンル情報

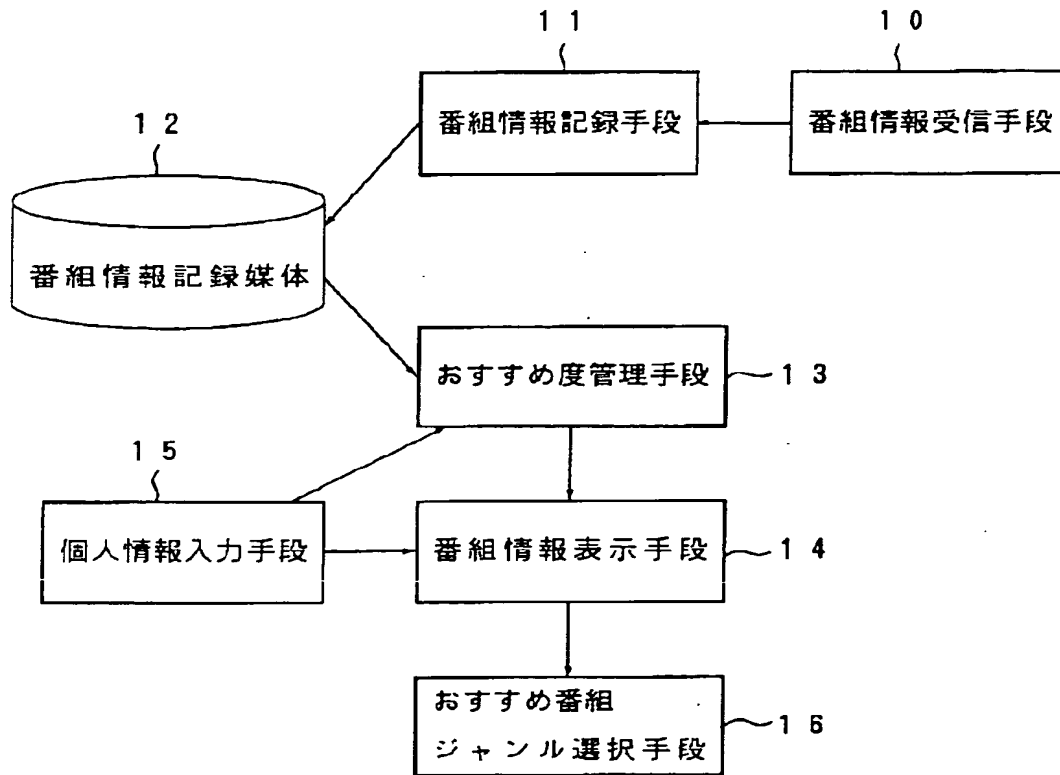
21……感性情報管理手段

24……適正番組ジャンル選択手段

25……感性分類用語選択メニュー

26……適正番組ジャンル情報

【図1】



【図2】

12a

番組名	情報スペースJ
放映日時	5月20日 22:00-22:54
チャンネル	8
ジャンル	報道
おすすめ度	男性=0.5      幼児=0.0 女性=0.5      ~中学生=0.10 ~大学生=0.25 ~30代=0.25 ~50代=0.20 それ以上=0.20

【図4】

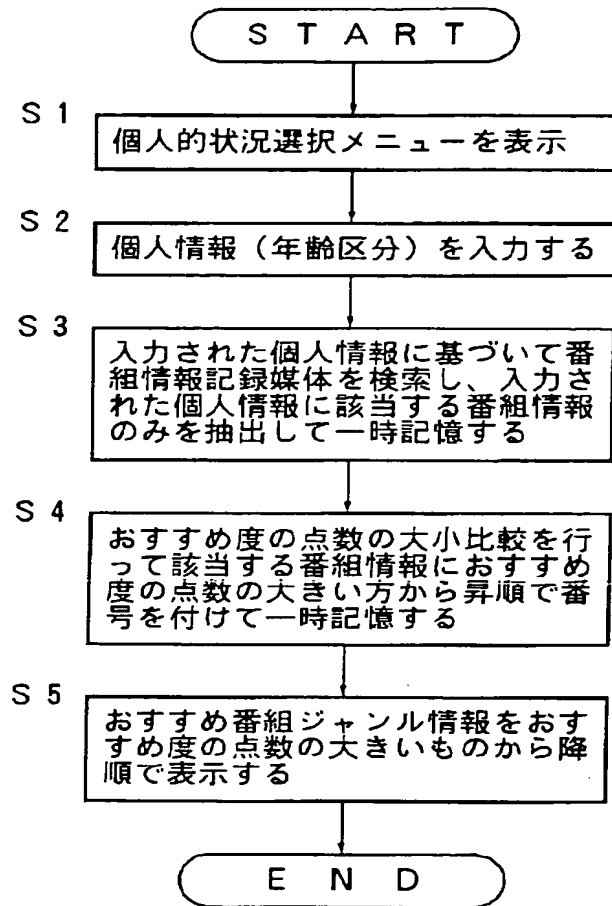
1.7 個人的状況選択メニュー

100

あなたの年齢は？

1 幼児	4 ~30代
2 ~中学生	5 ~50代
3 ~大学生	6 ~それ以上

【図3】

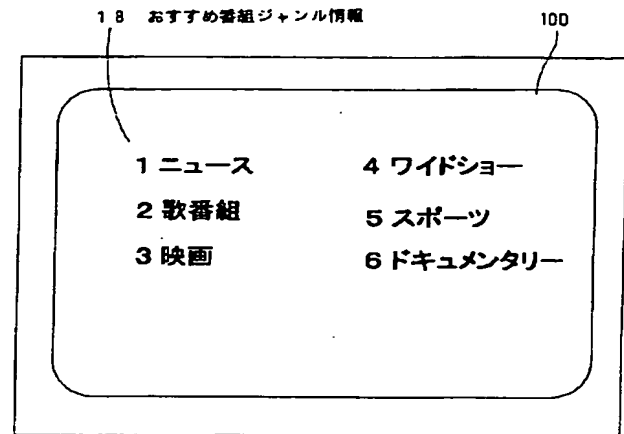


【図7】

12b

番組名	夜もヒットパレード
放映日時	5月20日 22:00-22:54
チャンネル	8
ジャンル	歌番組
感性分類	うきうきする わくわくする 元気な

【図5】

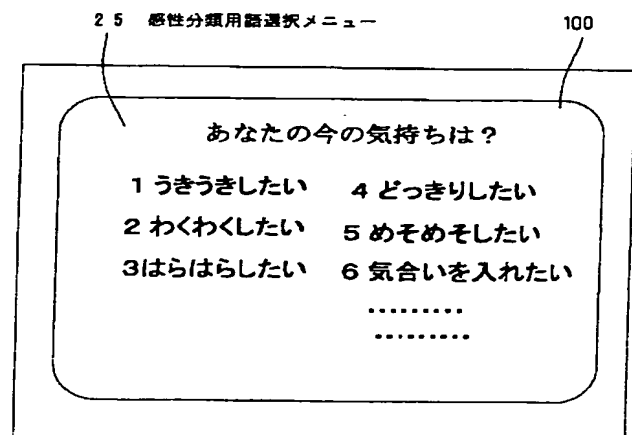


【図8】

## 感性分類用語集合

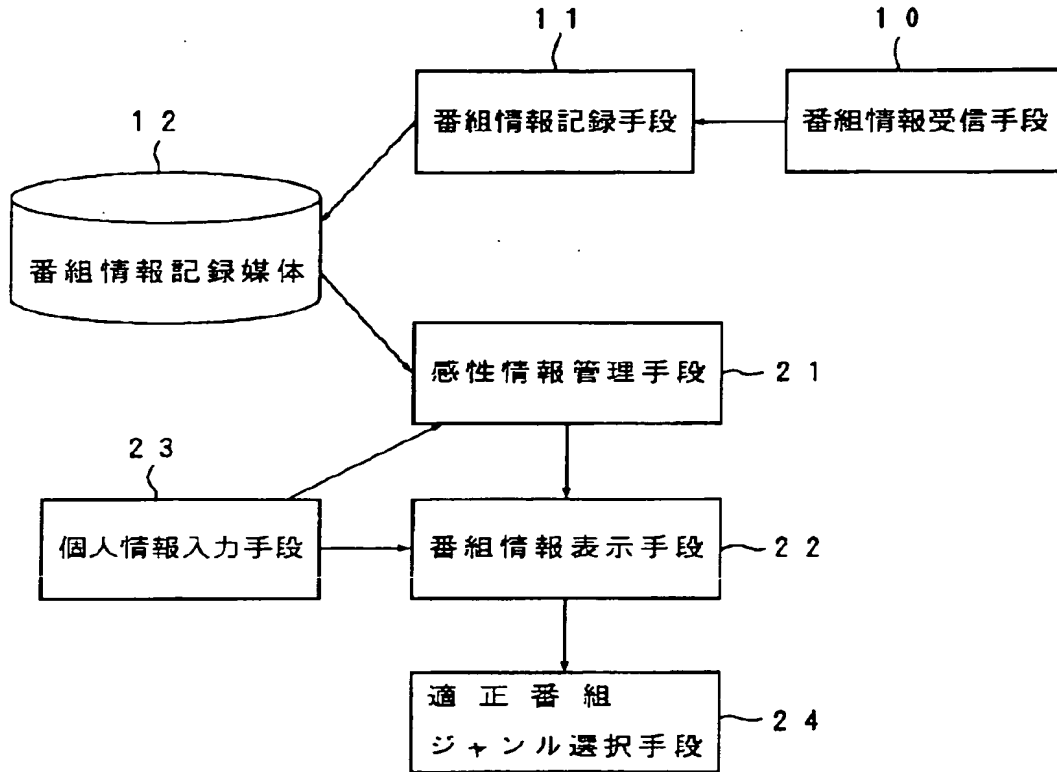
うきうき わくわく 元気な  
 かなしい うれしい まじめな  
 気合いの入った いらいらする  
 はらのたつ .....  
 ..... .....

【図10】

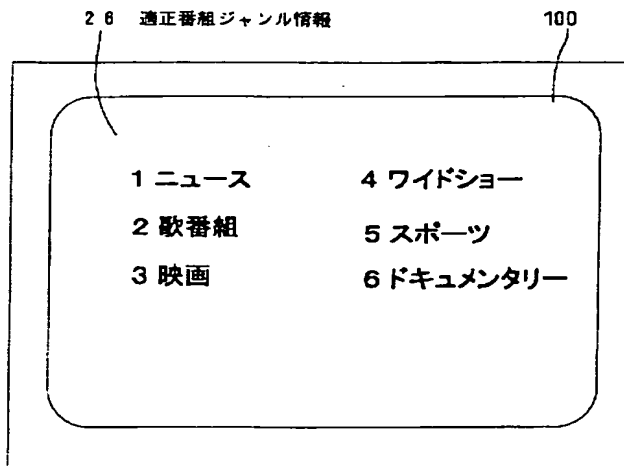




【図6】



【図11】



【図9】

